

造形ユニット勉強会 開催決定



福井県造形教育研究会が開発し、2015年、環太平洋大学の村上尚徳教諭、武蔵野美術大学の三澤一実教授、岡山大学大学院の大橋功教授の三名の助言による大幅改訂を経て、全国高等学校美術、工芸教育研究大会福井大会にて造形ユニットデータベースを同会ウェブサイトにて全国公開した。

その後も毎年現場の声を聞いて改訂を継続中。

zoukeifukui.comのデータベースでは、小学校、中学校、高校のユニットを用意しており、A4シート形式でユニットがダウンロード可能。

新しい授業のアイデアは暫時ユニットにして掲載、データベースを更新。データはサイト上のキャビネットや担当者のメールアドレスにて、常時受付中。

全国的な研究大会等でも注目を浴びている「図工・美術”指導ユニット”」。この度、東京での勉強会を開催することになりました。都道府県の境を越えてつながる機会にしませんか？

新しい時代のコンピテンシーについて学ぶ

21世紀において美術教育に求められる資質・能力とは何か。現行の指導要領を押さえながらも、これからの時代に求められる新しい学力

21世紀型能力の育成と図工、美術教育		20150626
図工・美術・芸術の評価観点 育成すべき資質・能力に対応した学習評価について	21世紀の教育課題 イ) 教科の本質 ウ) 教科に固有の知識や個別スキル課題	第2期 教育振興基本計画 (平成25年度～平成29年度) 自立 協働 創造 生きる力の確実な育成(成果目標) 「自ら学び、考え、行動する力」 文部科学省平成26年12月22日 新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学選抜の一体的改革について ①豊かな人間性 ②健康・体力(社会で自立)
図工・美術	育成すべき資質・能力に対応した教育目標・内容について 18年教育(芸術教育内容)を軸として ・主体性 ・積極性 ・資力(やればいける)	

観を見据えて授業を再整理することが求められています。授業デザインシートと指導ユニットからなる「造形ユニット」を一見すると、その題材を通して美術教育だからこそつけられる資質や能力が明確で、そのねらいに沿って授業の流れや授業中の指導の工夫がつかみ出せるようになっています。また、小中高各発達段階にあった題材を設定する研究も進められる仕組みになっています。

21世紀の教育課題の中で、美術科としての教科の本質と美術教育でこそ育成できる固有の資質・能力について考え、ユニットの作成演習を行いながら、次の授業を改善していく手立てとしてのユニットのあり方について研究を進めていきます。

自分の授業を整理する

多忙な中であってひたすら自分が教わったことや経験を元に感覚だけで授業を行ってきたという方も多いのでは？今一度、自分の授業を振り返り、整理する機会として、ユニットを利用してみてはいかがでしょうか。

既成のユニットをサイトからダウンロードして使うだけでなく、自分の授業をユニットに書いてみることで、授業デザインしていく際に自分に足りなかったものが見えてくるはずです。

作ったユニットをサイトにアップロードすることで、都道府県の枠を越えて別の人の力になれるかもしれません。

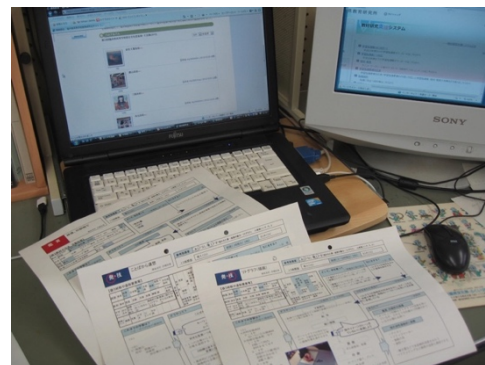
The screenshot shows a detailed unit template with sections for 'Materials/Methods', 'Objectives', 'Content', and 'Evaluation'. Below it is a 'Practical Record' (実践記録) form with a grid for recording lesson activities, including columns for 'Date', 'Class', 'Lesson Content', and 'Remarks'. There are also handwritten notes and diagrams illustrating the unit's structure and usage.

授業のアイデアを共有する

指導ユニットは指導案を要素ごとにさらに分解しシート一枚にまとめたもの。材料と方法の二つのタイプある。授業デザインシートは一つの題材での授業の流れを示したもので、どの指導ユニットをどの時間に使用することも示されている。どちらも、ウェブサイトから様々なキーワードで検索可能。

美術の担当は学校に自分一人だけしかいない。研修の機会も限られている――。

授業のヒントが欲しい採用間もない先生や臨時採用の先生はもちろん、授業のレポーターを増やしたい若手の先生方にも、先輩方が作成したユニットが大きな力になります。



これからの美術教育に求められることとユニットの活用

今回は、武蔵野美術大学の三澤一実先生のご協力をいただき、教育振興基本計画や教育課程企画特別部会の論点も整理しながら、ユニット活用の展望についてお話しいたします。



造形ユニット勉強会

期日：平成28年8月12日（金）

時間：13:00～17:00

場所：武蔵野美術大学新宿サテライトキャンパス
〒163-0609東京都新宿区西新宿1-25-1新宿センタービル9階

内容：1 ユニット活用の展望講義

～これからの学校教育で求められる資質・能力と美術教育について～ 三澤一実先生（1時間）

2 ユニット活用の検討

～解説および作成演習～（3時間）

参加費：無料 人数：20名程度

申し込み：zoukeifukui.comにて受付（8月4日締切）

*当日夕方より都内で懇親会を予定しております。ぜひご参加いただき肩の力を抜いて、美術のこれからについて語り合しましょう。

三澤一実先生

武蔵野美術大学教授。2015年、福井県における全国高校美術、工芸教育研究大会開催に先駆け、造形ユニットの大幅改訂に助言をいただき、同大会では「なぜ高等学校に美術、工芸教育が必要か」という大きな問いに対し分科会総括者として重要なまとめをしていただいている。

福井県造形教育研究会
事務局（高）
〒910-0854
福井県福井市 御幸 2-25-8
福井県立高志中学校・高等学校
野村由香里
TEL:0776-24-5175

*本件についてのお問い合わせ先

福井県造形教育研究推進員
伊藤裕貴
（東京藝術大学美術学部研修員）
（福井県立藤島高等学校 教諭）
TEL:090-5688-4202
Mail:atelierito.y.m.h.z.iii@gmail.com